



かなひらきま
へんとを
見よう。

第 学年 組 番 名前

一 次の1から5までの文の——部の漢字の正しい読みを、ひらがなでていねいに書きましょう。

- 1 顔を鏡に映す。
- 2 自己満足に過ぎない。
- 3 空気のすんだところで深呼吸する。
- 4 日が暮れるのが早くなる。
- 5 乱雑な部屋を片づける。

1	
2	
3	
4	
5	

二 次の1から5までの文の——部のひらがなを、漢字でていねいに書きましょう。

- 1 ていねいにしゅぞいする。
- 2 他校の児童としんこうを深める。
- 3 としよかんに行つて本を借りる。
- 4 科学者としてのめいせいが高まる。
- 5 テストちよくぜんまで勉強する。

1	
2	
3	
4	
5	

〈ヒント〉

- 一 1 「文章を書き写す」の「写す」と同じ読みだよ。
- 2 「初対面の人に自分の名前などを知らせること」を「自己しようかい」と言うよ。
- 3 「深」は「深夜」「深緑」「深刻」と同じ読みだよ。
- 4 「暮らす」と同じ読みだよ。
- 5 「乱雑」は、「乱れてだらしないことやまとまりがないこと」だよ。
- 二 1 記者は、関係する人から話を聞いて、記事の「ざいりよう」を集めるよね。
- 2 したしくつき合い、こうりゆうすると、「しんこう」が深まるよ。
- 3 「かん」は「博物館」「水族かん」「美術かん」と同じ漢字だよ。
- 4 「立派だという評判」のことで、「めい」は「なまえ」の「な」、「せい」は「こえ」だよ。
- 5 「すぐまえ」のことで、「ちよく」は「ちよくせつ」と同じ漢字だよ。



分かんないときは
先生に尋ねよう。

第 学年 組 番 名前

一 次の1から5までの文の——部の漢字の正しい読みを、ひらがなでいねいに書きましょう。

- 1 人々から批判される。
- 2 計画が進まないと困る。
- 3 運よく軽傷で済む。
- 4 朝起きてすぐに洗顔する。
- 5 裏口から入室する。

1	
2	
3	
4	
5	

二 次の1から5までの文の——部のひらがなを、漢字でいねいに書きましょう。

- 1 門に出てらいきやくをむかえる。
- 2 大空にききゆうがうかぶ。
- 3 つりばしをわたる。
- 4 にがてなことにチャレンジする。
- 5 人によって勉強のしかたがちがう。

1	
2	
3	
4	
5	

〈ヒント〉

- 一 1 「批判」は、「物事の上しあしについて意見を述べ、価値を決めること」だよ。
- 2 「困」は、「木が口(かこい)に入れられて伸びることができない様子」を表しているよ。
- 3 「軽傷」は「軽い傷」のことで、どちらの漢字も音読みするよ。
- 4 「洗」は「洗たく」と、「顔」は「顔面」と同じ読みだよ。
- 5 「裏」の反対は「表」だよ。「裏地」「裏声」「裏方」「裏技」などと使うよ。
- 二 1 「らいきやく」とは、「きやく」が「く(る)」ことだよ。
- 2 「き」は「きゆうき」と、「きゆう」は「ちきゆう」と同じ漢字だよ。
- 3 「はし」は「橋」の口、部首の「きへん」を入れると完成するよ。
- 4 「にがて」は「にが(い)」のほかに「くる(しい)」という読みがあるよ。
- 5 「し」は「しこと」と「かた」は「かきかた」と同じ漢字だよ。



かなひきき
（ヒント）を真見。

第 学 年 組 番 名 前

一 次の1から5までの文の——部の漢字の正しい読みを、ひらがなでいねいに書きましょう。

- 1 「医は仁術なり」という言葉がある。
- 2 海外の古城の写真を見る。
- 3 尊敬する人物がいる。
- 4 短時間で処理する。
- 5 簡単に問題を解く。

1	
2	
3	
4	
5	

二 次の1から5までの文の——部のひらがなを、漢字でいねいに書きましょう。

- 1 学校までの道をあんないする。
- 2 空のはてまで見わたす。
- 3 授業さんかんをする。
- 4 手紙にじこうのあいさつを書く。
- 5 よせんを勝ち進む。

1	
2	
3	
4	
5	

〈ヒント〉

- 一 1 「仁術」は、「思いやりのある行い」のことだよ。「仁義」という言葉もあるよ。
 2 「古」は「古典」と、「城」は「松山城」と同じ読みだよ。
 3 「尊敬」は「他人の人格や行動などを尊び敬うこと」だよ。
 4 unnecessaryなものを「処分する」とも言うよね。
 5 「簡」は「簡潔」と、「単」は「単語」と同じ読みだよ。
- 二 1 「あん」は「ていあん」と、「ない」は「ないよう」と同じ漢字だよ。
 2 「は(て)」は「けつか」の「か」と同じ漢字だよ。
 3 「さんかん」は、「その場に行って実際に見ること」だよ。「さんか」の「さん」だね。
 4 「じこうのあいさつ」には、「初冬のこう」や「風がおおるころとなりました。」などがあるよ。
 5 「よ」は「よてい」と、「せん」は「野球せんしゅ」と同じ漢字だよ。



ひらがなを
ていねいに書こう。

第 学 年 組 番 名 前

一 次の1から5までの文の——部の漢字の正しい読みを、ひらがなでいねいに書きましょう。

- 1 善は急げ。
- 2 ていねいに手を洗う。
- 3 女王陛下のいる宮殿。
- 4 民衆の意見を聞く。
- 5 布を好きな色で染める。

1	
2	
3	
4	
5	

二 次の1から5までの文の——部のひらがなを、漢字でていねいに書きましょう。

- 1 山の中腹にてんもん台がある。
- 2 犯人のしょうたいを見ぬく。
- 3 おだやかなにちじょう生活。
- 4 天候がかいふくする。
- 5 急用のため席をはずす。

1	
2	
3	
4	
5	

<ヒント>

- 一 1 「善」は「善悪」「善意」と同じ読みだよ。
- 2 かぜの予防に、手洗いとうがいは欠かせないよ。
- 3 「陛下」は「へいか」と読むよ。「陛」は「土を積み上げて造った階段」を表しているよ。
- 4 「民」は「住民」と、「衆」は「アメリカ合衆国」と同じ読みだよ。
- 5 「夕日が空を染める」「ほおを赤く染める」などと使うよ。
- 二 1 「てん」は「てんき予報」と、「もん」は「ぶんめい」と同じ漢字だよ。
- 2 「本当の姿」という意味で、「しょう」は「ただ(しい)」、「たい」は「からだ」と同じ漢字だよ。
- 3 「にち」は「まいにち」と、「じょう」は「じょうしき」と同じ漢字だよ。
- 4 「かいふく」は「悪くなった状態が、もとどおりになること」だよ。
- 5 「はず(す)」は「そと」と同じ漢字だよ。



かなをひきま
へんをひきま。

第 学 年 組 番 名 前

一 次の1から5までの文の——部の漢字の正しい読みを、ひらがなでい
ねいに書きましょう。

- 1 単純な形を組み合わせる。
- 2 穀物を貯蔵する。
- 3 危機感をもって行動する。
- 4 垂直に線を引く。
- 5 学校の創立を祝う。

1	
2	
3	
4	
5	

二 次の1から5までの文の——部のひらがなを、漢字でいねいに書きま
しょう。

- 1 スポーツ教室にかよう。
- 2 くじで一等があたる。
- 3 長年ののぞみをかなえる。
- 4 器用にしゅうりする。
- 5 あまりのおいしさにしたつつみを打つ。

1	
2	
3	
4	
5	

〈ヒント〉

- 一 1 「単純」の反対は「複雑」だよ。同じような意味の言葉に「簡単」があるよ。
- 2 「貯」は「貯金」と、「蔵」は「冷蔵庫」と同じ読みだよ。
- 3 「危機」は「危ない状態や時」を意味するよ。「危険」、「機会」と同じ読みだよ。
- 4 「垂直」は「直線や平面に対して直角であること」だよ。
- 5 「創」は「創造」と、「立」は「自立」と同じ読みだよ。
- 二 1 「学校にかよう(う)」ことを「つうがく」と言うよ。
- 2 「あ(たる)」は、「とうせん」の「とう」と同じ漢字だよ。
- 3 「のぞ(み)」は「きぼう」とも言うよね。
- 4 「しゅう」は「しゅうがく旅行」と、「り」は「りか」と同じ漢字だよ。
- 5 「した」は「漢字じてん」の「じ」の左側だよ。



かながらうきま
へいごをきま。

第 学 年 組 番 名 前

一 次の1から5までの文の——部の漢字の正しい読みを、ひらがなでいねいに書きましよう。

- 1 臓器のすぐれた働きを知る。
- 2 決まりを厳守する。
- 3 同窓会を開く。
- 4 ガラスが割れる。
- 5 鋼鉄のような意志をもつ。

1	
2	
3	
4	
5	

二 次の1から5までの文の——部のひらがなを、漢字でいねいに書きましよう。

- 1 あいようしているぺん。
- 2 何事にもちようたんがある。
- 3 ちやばしらが立つ。
- 4 背の高いビルをめじるしにする。
- 5 しゅうゆうきつぷで四国4県をめぐる。

1	
2	
3	
4	
5	

<ヒント>

- 一 1 「臓」は「心臓」と、「器」は「食器」と同じ読みだよ。
- 2 「厳守」は「厳しく守ること」だよ。
- 3 「同窓」は「同じ学校や先生のもとで学んだこと」だよ。
- 4 「卵を割る」「スイカを割る」などと使っよ。
- 5 「はがね」のことを「こてこ」と言っよ。
- 二 1 「あい」は「あいじよう」と、「よう」は「ようい」と同じ漢字だよ。
- 2 「ちようたん」は「ちよう所」と「たん所」のことだよ。
- 3 「ちや」は「おちや」と、「はしら」は「家のはしら」と同じ漢字だよ。
- 4 「めじるし」の「じるし」は、「第一いんじよう」の「いん」と同じ漢字だよ。
- 5 「しゅう」は「まわ(り)」と、「ゆう」は「あそ(ぶ)」と同じ漢字だよ。



かなひきまき
（ひき）を見よう。

第 学 年 組 番 名 前

一 次の1から5までの文の——部の漢字の正しい読みを、ひらがなでいねいに書きましょう。

- 1 貴重品の取りあつかいに気を付ける。
- 2 高速道路を延ばす計画を立てる。
- 3 感激してなみだを流す。
- 4 遠くから名前を呼ぶ。
- 5 漢字を読み誤る。

1	
2	
3	
4	
5	

二 次の1から5までの文の——部のひらがなを、漢字でいねいに書きましょう。

- 1 むしんになって計算をする。
- 2 休みの日は、自分でちゅうしょくを作る。
- 3 人にしんせつにする。
- 4 犬をつれて山に行く。
- 5 入学とうじのことを思い出す。

1	
2	
3	
4	
5	

〈ヒント〉

- 一 1 「重」は「じゅう」と読んではいけないよ。
- 2 雨が降って遠足の日が延びることを「延期」と言うよ。
- 3 「感激」は「心をはげしく動かされること」だよ。
- 4 「助けを呼ぶ」などと使うよ。
- 5 「誤る」は「まちがうこと」だよ。
- 二 1 「よけいなことはいっさい考えない様子」のことで、「こころ」が「な（い）」と書くよ。
- 2 「ちゅうしょく」は「おひるごはんのこと」だよ。
- 3 「しんせつ」の「しん」は、「した（しい）」という漢字だよ。
- 4 部首は「しんによう（しんにゅう）」だよ。
- 5 「とう」は「あ（たる）」と、「じ」は「じかん」と同じ漢字だよ。



かなひらかな
を
まねて

第 学 年 組 番 名 前

一 次の1から5までの文の——部の漢字の正しい読みを、ひらがなでいねいに書きましょう。

- 1 難しい読みの漢字を学習する。
- 2 人から聞いたことを本で確認する。
- 3 話題を提供する。
- 4 人を敬う気持ちを大切にする。
- 5 空気を圧縮する。

1	
2	
3	
4	
5	

二 次の1から5までの文の——部のひらがなを、漢字でいねいに書きましょう。

- 1 遠くからあいずを送る。
- 2 時代のりゅうこうを追う。
- 3 海沿いをきしやが走る。
- 4 お茶のさほうを学ぶ。
- 5 たいかくのよい若者。

1	
2	
3	
4	
5	

〈ヒント〉

- 一 1 「難しい」の反対は「易しい」だよ。
- 2 「確」は「确实」と、「認」は「承認」と同じ読みだよ。
- 3 「提」は「提案」と、「供」は「供給」と同じ読みだよ。
- 4 「敬う」は「尊敬すること」だよ。
- 5 「圧縮」は「圧力をかけて縮めること」だよ。
- 二 1 「あい」は「あいかく」と、「ず」は「ずが」と同じ漢字だよ。
- 2 「りゅう」は「なが(れる)」と、「こう」は「い(く)」と同じ漢字だよ。
- 3 かつての蒸気機関車のこと、「き」のくんは「きんずい」だよ。
- 4 「さ」は「さぎょう」と、「ほう」は「ほうほう」と同じ漢字だよ。
- 5 「たいかく」は「からだつき」のことだよ。「かく」は「きくん」だよ。

ていねいに三つこつや
つていくと、いつの間にか
力がついていくよ。



かなはなまほ
へんと 読みます。

第 学年 組 番 名前

一 次の1から5までの文の——部の漢字の正しい読みを、ひらがなでいねいに書きましょう。

- 1 従来どおりの方法で行う。
- 2 的をめぐけて矢を射る。
- 3 運動をして筋力をつける。
- 4 逆転勝利を収める。
- 5 約束の時間におくれた言い訳をする。

1	
2	
3	
4	
5	

二 次の1から5までの文の——部のひらがなを、漢字でいねいに書きましょう。

- 1 うちきな性格の少女。
- 2 くだものかにくが入ったジュース。
- 3 店先でふうせんを配る。
- 4 権力をこうしする。
- 5 おもにを背負うことになる。

1	
2	
3	
4	
5	

〈ヒント〉

- 一 1 「従来」は「これまで」という意味だよ。
- 2 「矢を放つこと」を「射る」と言うよ。
- 3 「筋力」は「筋にくの力」のことだよ。
- 4 同じ読みをする漢字に、「納める」「治める」「修める」があるよ。
- 5 「訳」は「理由」のことだよ。
- 二 1 「うち」は「うちがわ」と、「き」は「きもち」と同じ漢字だよ。
- 2 「かにく」は「かじつ」の「にく」の部分のことだよ。
- 3 「ふう」は「かせ」と、「せん」は「ふね」と同じ漢字だよ。
- 4 「こうし」は「寒際につかうこと」だよ。
- 5 「おもに」は「おもいにもつ」と書くよ。

かなひらき
しんじき

第 学年 組 番 名前

一 次の1から5までの文の——部の漢字の正しい読みを、ひらがなでいねいに書きましょう。

- 1 背中を丸めて歩く。
- 2 連絡を密にする。
- 3 戸を閉める。
- 4 補足説明をする。
- 5 家庭訪問が行われる。

1	
2	
3	
4	
5	

二 次の1から5までの文の——部のひらがなを、漢字でいねいに書きましょう。

- 1 おうきゆう手当てをする。
- 2 日本のぶつかは高い。
- 3 成功をかくしんする。
- 4 今のしんきようを語る。
- 5 力を加えて竹をまげる。

1	
2	
3	
4	
5	

〈ヒント〉

- 一 1 「背」は「背骨」と同じ読みだよ。
 2 「密にする」は「間かくをせまくすること」や「こまやかにすること」だよ。
 3 「閉める」の反対は「開ける」だね。「閉じる」とまちがえないように。
 4 「補」は「補強工事」と、「足」は「遠足」と同じ読みだよ。
 5 「訪問」は「たずねていくこと」だよ。
- 二 1 「きゆうな事態に取りあえずたいおうすること」だよ。
 2 「ぶつか」は「もののかかく」のことだよ。
 3 「かく」は「たし(かた)」と、「しん」は「しん(じる)」と同じ漢字だよ。
 4 「しん」は「こころ」だよ。「きよう」は「かがみ」と同じつくりだよ。
 5 「ま(げる)」は「きよくせん」の「きよく」という漢字だよ。